



2008年9月入職

かねやすみき
金安美喜

歩んできた道は正しかったと、確認できた。

人生を全うするためのお手伝いがしたい

私が看護師の仕事に就いている理由は、昔のある経験がもたっているのかもしれませんが。中学生だったある日、祖父の最期を自宅で看取りました。そのときに何もしてあげられることがなく、ただただ悲しい思いをしたのを今でも覚えています。私が医療のことに詳しくなればもう少し長い時間を生きられたかもしれない。以前から人の役に立つ仕事がしたいと考えていましたが、そのとき看護師という具体的な目標が決まりました。誰かの人生を全うするためのお手伝いができる。これは他のどの仕事でもなく、看護師にしか出来ないことだと思っています。

今はこうして憧れていた職業に就いていますが、当時自分が理想としていた姿に近づきつつあると感じています。先日、ある患者さまが別のクリニックに転院して、再び私が勤めている中山駅前クリニックに戻ってこられたことがありました。その患者さまが「転院先で知り合った人が、『中山駅前にいい看護師さんがいる』って言ってさ。よく聞いてみると金安さんのことだったんだ」とおっしゃってくださったんです。そういった話をお聞きすると、「誰かの役に立てているのだな」と思えます。



これまで以上に自分を戒めていく



思いやりエキスパートナースの存在を知ったとき、自ら立候補しました。もちろん上長から「受けた方がいい」と言われたことも後押しになりました。そして選ばれたとき、自分が歩んできた道は間違いではなかったと確認することができました。それと同時に、これまで以上に責任感を持って仕事に取り組まなければならないという戒めの気持ちも膨らんできました。普通のスタッフなら「これでいいだろう」と済ませてしまうようなことも、思

いやりエキスパートナースであればそうはいきません。自分の見識を深め、それをまわりのスタッフに伝えることで全体が底上げされていく。そんなクリニック全体に良い影響を与えられる存在になりたいと思っています。

より多くの患者さまを笑顔に、
より多くのスタッフから信頼される
看護師に成長したい。
金安美喜